

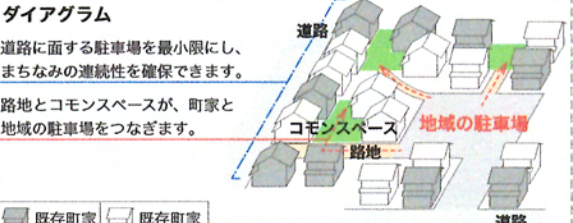
町家が紡ぐ津島のまちなみ 津島型町家の住宅モデルプラン

津島市は自然堤防の上につくられた本町筋を中心に、歴史あるまちなみを形成し、経済面・文化面ともに発展を遂げてきました。現在は、老朽化に伴う町家の解体、駐車場の乱立が目立ち、まちなみの連続性が失われつつあります。一方、現代社会における地方都市は、車は日常生活を営む上で必要な交通手段であり、駐車場の確保は重要な課題であるといえます。

本計画は、「連続したまちなみを形成する駐車場計画」と「町家型 commonspace」をまちなみ整備の軸とし、町家の特性を生かした「床の家」と「間戸の家」が、空洞化したまちなみを訪ぎ、まちなみ再生を目指した計画を提案します。

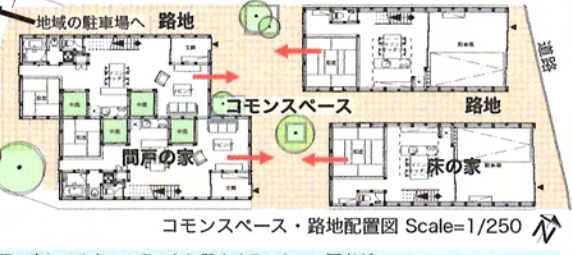
連続したまちなみを形成する駐車場計画

歴史あるまちなみが残る本町筋周辺は、まちなみ断面割りが大きい特徴があります。この特徴を生かし、区画の中心部分に地域の方が利用する駐車場(以下、地域の駐車場)を設け、駐車場設置に伴うまちなみの分断を軽減することができると考えます。また、地域の駐車場から町家へのアプローチのために路地や、commonspaceを設けることで、まちなみのスケールを保ちつつ、まちなみに奥行きをつくることができます。



町家型 commonspace

地域の駐車場と町家をつなぐ路地やcommonspaceは、まちといえをつなぐセミパブリックスペースとなります。このスペースは、地域コミュニティ形成の場と、住戸内のアクティビティが拡張する場を創出します。前者については、みちと町家との関係を通して地域とのコミュニケーションを構築したかつての町家の役割を、commonspaceへ継承し、新旧の町家間や地域とのコミュニティ形成を促す役割を果たします。また、このスペースは道路に直接面していないため、安全な子供の遊び場としても活用できます。

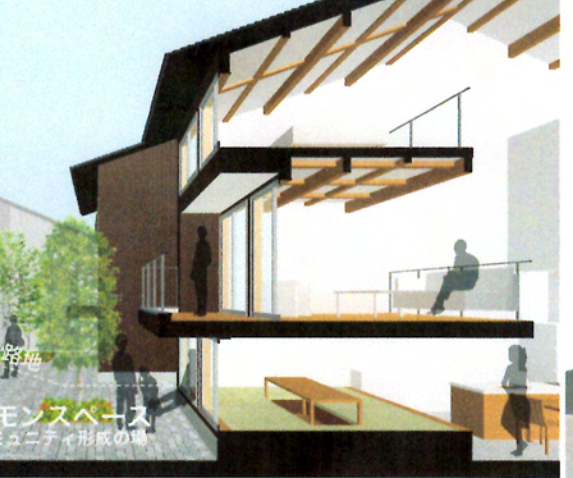


後者については、commonspaceと、1階が土間仕上げの住戸の床レベルを、フラットに設定することで、両者が連続的かつ一体的空間となります。これにより、住戸内のアクティビティが外部へ広がりやすくなり、commonspaceが、セミプライベートスペースにも変容する柔軟かつ魅力的な町家型 commonspace となります。町家には土間のある生活が息づいており、町家のある津島でこそ生きるスペースです。

間戸の家



床の家



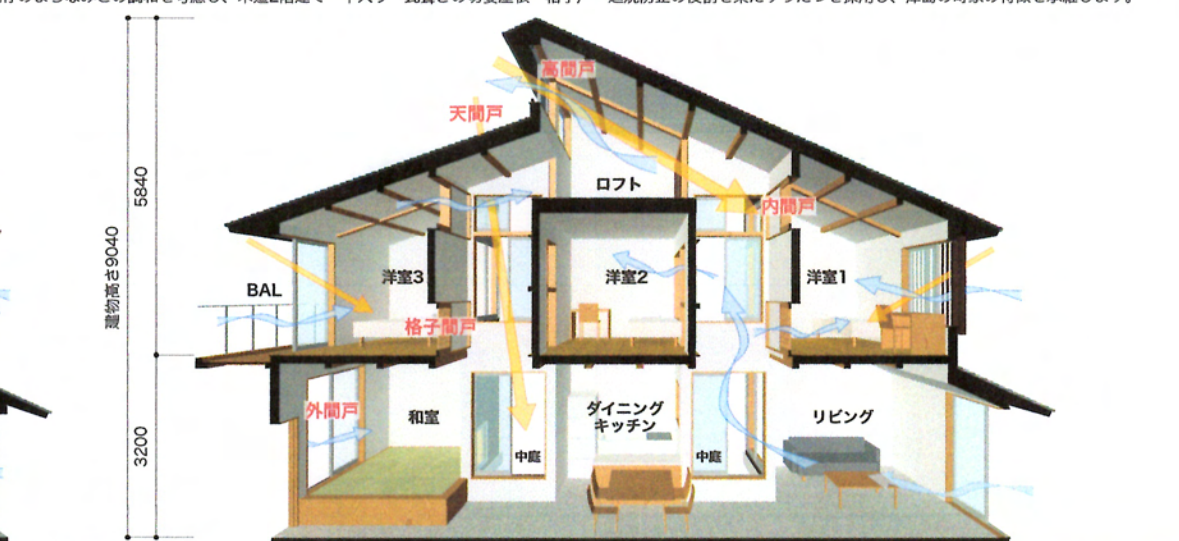
駐車場や、解体された町家の空地等により、空洞化したまちなみに町家を計画していく。町家・路地・commonspaceが三位一体となって、まちなみの空地を訪いで、歴史あるまちなみを再生していく。



既存のまちなみとの調和を考慮し、木造2階建て・平入り・瓦葺きの切妻屋根・格子戸・延焼防止の役割を果たすうだつを採用し、津島の町家の特徴を承継します。

住戸計画 【家族構成：両親・子供2人の計4人を想定】

本計画は、地域の駐車場の負担を軽減するために、道路に直接面する住戸は駐車場付きの「床の家」を、道路から奥に位置する住戸は「間戸の家」と設定し、間口が狭く奥行きが長い町家の特徴を生かした2パターンの住戸を計画します。いずれの町家も、1階を土間仕上げとし、まちやcommonspaceへ開いた計画とします。

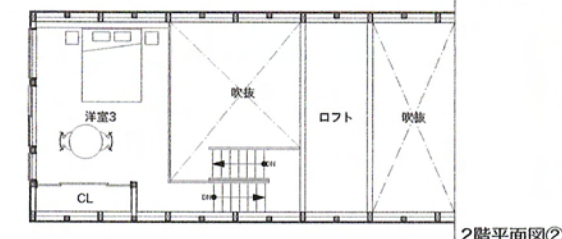
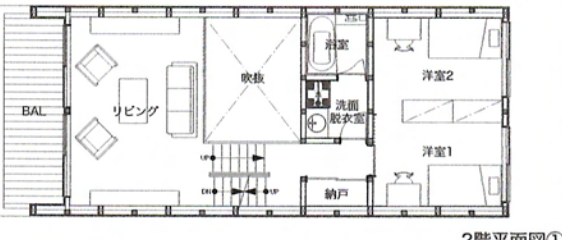
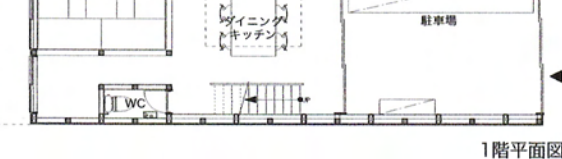


床の家 建築面積：74.53㎡、延床面積：139.25㎡

床の家は、「土間の床」「畳の床」「くつろぎの床」「子供の床」「夫婦の床」の計5つ床で構成されるスキップフロア形式の町家です。5つの床の位置はプライバシーの度合いを考慮して設定し、大きな1室空間でありながらも、外部から各床へゆるやかにつながっていきます。

集成材の柱と梁を金物で接合した門型架構と、妻側外壁の耐力壁で支える構造形式を採用し、間仕切り壁を最小限に抑えることで、床の構成が明確になります。

住戸内に設けた駐車場とダイニング・キッチンを3枚引込み戸で分断し、3枚引込み戸をフルオープンすることで、車がないときはホームパーティー等で一体空間として活用できます。また、この駐車場部分を町家の原型である小規模店舗や事務所等の活用が可能です。



間戸の家 建築面積：63.66㎡、延床面積：114.28㎡

間戸の家は、屋内外の境界となる「外窓戸」と「高窓戸」、各居室に設けた「内窓戸」と「格子窓戸」、中庭上部の「天窓戸」の計5種類の窓戸を設けます。

吹抜からロフトが一体とした空間は、高窓戸や、中庭の天窓戸・外窓戸から取り込んだ光や風を、各居室へ享受する役割を果たします。そして、この空間を通して、室内全体の換気・排熱を効率的に行うことができます。

各居室の内窓戸と格子窓戸は、住まい方に応じて光や風の授受・プライバシーの調整を行います。また、各居室は間仕切り壁で分断しながらも、この空間を通して家族の気配を感じ取ることができます。

構造は、一般的な在来工法をベースとします。

